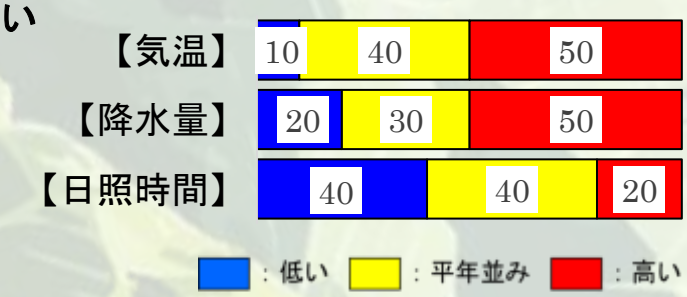
# ＪＡ全農ちば
# 営農情報集 2023. 12

## 【今月の情報】

１．病害虫防除（園芸）
２．育苗期サツマイモ管理
３．安全な農作物生産の取り組みについて
　　～農薬・肥料の保管方法～
４．はじめようスマート農業キャンペーン！

## 【今月の気象（気象庁１１/３０発表　１か月予報より）】

　１２月は平年より気温がやや高い予報ですので、作物の生育状況に注意しましょう。
　また害虫の発生が多く予想されます。早期の防除をしっかりと行いましょう。




**注意とお願い**
農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

営 農 情 報

令和５年１２月

# 園芸野菜　病害虫防除情報

ＪＡ全農ちば　営農支援部

## 1. はじめに

気象庁より１２月は平年よりも暖かい気温となる予報が発表されており、各作物の生育は順調に進むと思われますが、一方で病害虫も発生しやすい条件となります。

特に施設栽培では夜間の閉め切りによって湿度が高まり、葉かび病・うどんこ病・灰色かび病などの病害が拡大しやすい環境となります。薬剤防除と合わせて、換気や葉かき後の残さ処分など、耕種的な対策も実施しましょう。

## 2. トマト・ナス－灰色かび病・うどんこ病　**引き続き施設での発生に要注意！**

### （1）灰色かび病

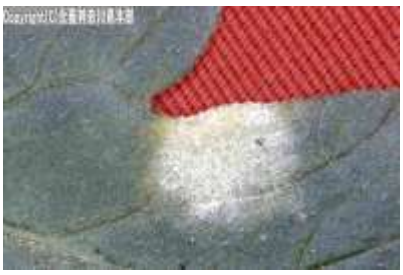
灰色かび病は20℃前後の気温と多湿を好みます。夜間、ハウスを閉め切る時期は湿度が高くなりがちです。除湿のために天窓換気、暖房機による早期加温、空運転等を実施するほか、薬剤散布はなるべく午前中に行い、ハウスを閉め切るまでに薬液が乾くようにしましょう。

また、果実に付着した花弁や枯れた葉が残っていると、灰色かび病の発生源になります。同様に、発病した葉や果実を通路に放置せず、必ずハウスの外へ持ち出して処分しましょう。

果実に寄生した灰色かび病

### （2）うどんこ病

トマトやナスなどのナス科作物のうどんこ病には、表生型と内生型の２種類があります。表生型は植物体の表面に寄生しますが、内生型は葉の内部にも病原菌が広がるため、防除がより困難になります。内生型は主に葉裏の気孔から侵入するため、薬剤散布の際は、葉裏まで薬剤がかかるように丁寧に行いましょう。



葉のうどんこ病の病斑

### （3）薬剤防除　※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●トマト　灰色かび病・うどんこ病　防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰色かび<br>うどんこ | M7 | ベルクートフロアブル | 2000 | 収穫前日まで | 3回以内 | 予防 |
| | 7 | アフェットフロアブル | 2000 | | 3回以内 | 予防 |
| | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル | 2000 | | 2回以内 | 予防・治療 |
| 灰色かび | 12 | セイビアーフロアブル20 | 1000 | | 3回以内 | 予防 |
| | 1+10 | ゲッター水和剤 | 1000 | | 5回以内 | 予防・治療 |
| うどんこ | 3+U6 | パンチョTF顆粒水和剤 | 2000 | | 2回以内 | 予防・治療 |
| | 50 | プロパティフロアブル | 3000 | | 2回以内 | 予防・治療 |

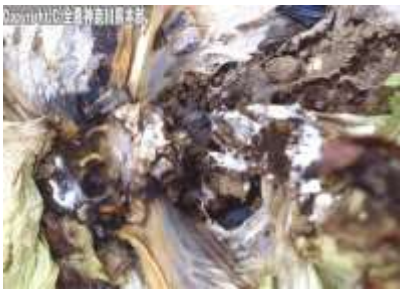
●ナス　灰色かび病・うどんこ病　防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰色かび<br>うどんこ | M7 | ベルクートフロアブル | 2000 | 収穫前日まで | 3回以内 | 予防 |
| | 7 | アフェットフロアブル | 2000 | | 3回以内 | 予防 |
| | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル | 2000 | | 2回以内 | 予防・治療 |
| 灰色かび | 12 | セイビアーフロアブル20 | 1000 | | 3回以内 | 予防 |
| | 1+10 | ゲッター水和剤 | 1000 | | 5回以内 | 予防・治療 |
| うどんこ | 3+U6 | パンチョTF顆粒水和剤 | 2000 | | 2回以内 | 予防・治療 |
| | 50 | プロパティフロアブル | 3000 | | 3回以内 | 予防・治療 |

農作業安全　管理機による巻き込まれ事故注意！転回・バック時は慎重に！　　食の安全・安心　農薬散布器具は毎回必ず洗浄！

※　本資料の無断使用・複写・転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援部

## 3. レタス　－　灰色かび病・菌核病



菌核病の被害株

レタスの灰色かび病と菌核病は、ともに冬期の霜や凍害で傷んだ下葉から発病し、最終的には結球に腐敗を引き起こす病害です。トンネル栽培では結球期前の防除が重要になります。薬剤散布をする際は、できるだけ株元にも薬剤がかかるようにしましょう。

### （１）灰色かび病

地際に灰色のカビが発生し、のちに結球表面にも進展します。軟弱な葉の一部には褐変も見られます。乾燥しているときには被害はあまり見られませんが、曇雨天が続く場合には結球内部および表面に急激に被害が進展する病害です。

### （２）菌核病

地際や葉の裏に綿のような白いカビが発生します。湿度が高いと、やがて結球表面にも黒い菌核が発生し、被害が進展すると結球が腐敗して枯れてしまいます。

### （３）薬剤防除　※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●レタス　灰色かび病・菌核病　防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰色かび病・菌核病 | 11 | アミスター20 フロアブル | 2000 | 収穫 7 日前 | 4 回以内 | 予防・治療 |
| | | メジャーフロアブル | 2000 | 収穫 3 日前 | 3 回以内 | 予防・治療 |
| | 7+11 | シグナム WDG | 1500 | 収穫 7 日前 | 2 回以内 | 予防・治療 |
| | 1+10 | ゲッター水和剤 | 1500 | 収穫 7 日前 | 2 回以内 | 予防・治療 |
| | 2 | ロブラール水和剤 | 1000 | 収穫 14 日前 | 3 回以内 | 予防・治療 |

## 4. イチゴ　－　うどんこ病

### （１）うどんこ病

適温は 20℃前後で、乾燥と多湿を繰り返すと被害が拡大します。冬場閉め切っているハウスはうどんこ病の好適な環境になるため、多発しやすくなります。ショウチノスケフロアブルやプロパティフロアブルのような治療効果を持つ薬剤は発生前～発生初期に使用し、予防剤でうどんこ病が低密度の期間を長く保つことが上手な薬剤の使い方です。

### （２）薬剤防除　※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●いちご　うどんこ病　防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | M7 | ベルクートフロアブル | 2000 | 収穫前日 | 5 回以内 | 予防 |
| | 7 | アフェットフロアブル | 2000 | 収穫前日 | 3 回以内 | 予防 |
| | 9 | フルピカフロアブル※ | 2000 | 収穫前日 | 3 回以内 | 予防 |
| | 9・UN | ショウチノスケフロアブル※ | 2000 | 収穫前日 | 2 回以内 | 予防・治療 |
| | 50 | プロパティフロアブル | 3000 | 収穫前日 | 3 回以内 | 予防・治療 |
| | 4+UN | パンチョTF顆粒水和剤 | 2000 | 収穫前日 | 2 回以内 | 予防・治療 |

※ショウチノスケﾌﾛｱﾌﾞﾙ・フルピカﾌﾛｱﾌﾞﾙは合わせて３回以内（共通成分：メパニピリム）

農作業安全 管理機による巻き込まれ事故注意！転回・バック時は慎重に！　食の安全・安心 農薬散布器具は毎回必ず洗浄！

※　本資料の無断使用・複写・転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援部

営 農 情 報

令和５年１２月

# サツマイモポット苗育苗と防除のポイント

ＪＡ全農ちば
営農支援部

メリクロン苗の導入は、いもの早期肥大や形状・皮色・貯蔵性の向上が期待できます。苗を効率的に増殖しサツマイモの品質向上に努めましょう。また、本年も１月中旬よりメリクロン苗の配布が始まります。まだご注文がお済みでない方はお近くのＪＡへ問い合わせ下さい。

## ポット苗 育苗管理

### 1. 育苗床の準備

（１）ポット苗の届く１か月前を目安に苗床の準備を行いましょう。
（２）前年につる割れ病などが発生した苗床は太陽熱消毒などの実施が望ましいです。（夏季）
（３）肥料は窒素・りん酸・加里を㎡当たり２０～３０g（成分量）入れましょう。
（４）窒素の半量は緩効性肥料を使いましょう。

### 2. 苗が届いたら‥

育苗中になるべくイモの着生を抑える⇒苗の伸長が良くなる

（１）生育不良株がないかを確認しましょう。
（２）赤根を取り除き、直ちにポット苗を定植しましょう。
（３）定植後はたっぷりと灌水を行いましょう。

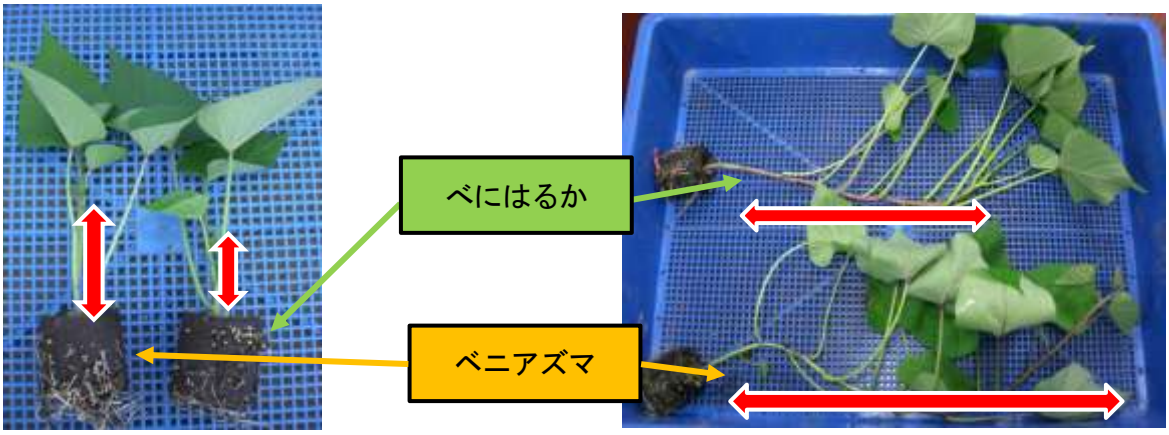
### 3. ポット苗定植後の管理

夕方の保温は早めに行い夜温の低下を防ぐ（午後３時頃を目安）

（１）活着まではしっかり保温、夜間は状況に応じて保温シートをトンネルの上にかけましょう。
（２）ハウス内の地温を 25～30℃程度で維持しましょう。
（３）ハウス内の気温は、日中 25～30℃、夜間は最低 15℃を維持しましょう。
（４）低温と土壌の乾燥は生育を停滞させ増殖率の低下を招きます（芋の着生など）。
→保温と灌水（１回の量を減らし回数増やす）をしっかりと行いましょう
（５）採苗後の追肥（㎡あたり窒素 30ｇを目安）で草勢を維持することがポイントです。また、晴天時はトンネル換気に注意し葉焼けを防止しましょう。

**〇べにはるか育苗の留意点**

「べにはるか」は、「ベニアズマ」に比べ、苗の伸長が遅く節間が短いです。
**→「ベニアズマ」の育苗よりも温度と湿度を高めに管理することが重要です！**
**（日中の気温を 33℃、夜温 20℃以上を目安）**




農作業安全 管理機による巻き込まれ事故注意！転回・バック時は慎重に！　食の安全・安心 農薬散布器具は毎回必ず洗浄！

※ 本資料の無断使用･複写･転載を禁じます JA全農ちば 営農支援部

# 病害虫防除

○防除を考えるときに注意すること

ハウスで発生している害虫は何？ハウスで初発生したのはいつ？どこで？
前年発生した場所・時期は特に注意して観察し、早めの防除を心掛けましょう

## 1　つる割れ病

**育苗床から本圃への持ち込みには厳重注意！**

土壌伝染性で苗の切り口や細根の傷口から侵入し、感染します。
茎の地際部が縦に裂開してつる割れとなり、葉は紫褐色から黄変して落葉します。

**（１）防除薬剤**

床土・堆肥：クロールピクリン剤※　3～5ml/1 穴　１回（処理後、被覆が必要）
※クロピク 80、ドロクロール、ドジョウピクリン等　使用回数は合わせて１回

苗：ベンレート水和剤　500～1000 倍/１回
植付前 20～30 分間苗基部浸漬　もしくは挿苗時株元潅注（20～40ml/株）

ベンレート T 水和剤２０　200 倍/1 回
植付前 30 分間さし苗基部浸漬

**（２）夏季の太陽熱消毒**

梅雨明け頃から育苗ハウスの太陽熱消毒をすることで、つる割病、立枯れ病、ネコブセンチュウ等の防除効果があります。以下の手順で行いましょう。

ア．育苗終了後、株を抜き取り残渣等が無い状態にする。
イ．灌水チューブで一昼夜を目安に十分灌水した後、古ビニールやポリフィルムでハウス全面を被覆する。
ウ．20～40 日間ハウスを密閉し、高温状態を維持する。

## 2　基腐病

基腐病対策の基本は、本圃に病原菌を「持ち込まない」ことです。苗からの持ち込みを防ぐため定期的な苗の更新、苗床消毒および苗の消毒による健全な生産を心がけましょう。また、購入した苗の記録は保管しておきましょう。

**（１）防除薬剤**

苗：ベンレート水和剤　500～1000 倍/１回　植付前 30 分間浸漬

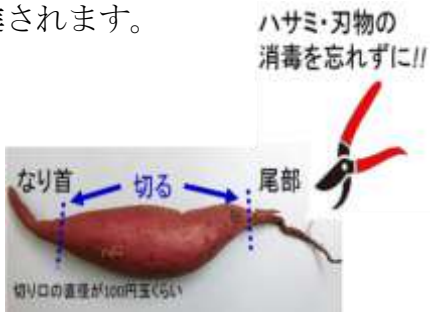
**（２）収穫後の本圃の管理**

収穫が完了した圃場はツルなどの残さをできるだけ持ち出し、収穫後は地温が高く、土壌水分があるうちに耕うんを行うことで、有機物の分解が促進されます。

**（３）種イモの管理方法 1)**

貯蔵前の処理として

収穫 ⇒ 水洗＋選別後、なり首・尾部 2)切除、
種イモ消毒＋乾燥 3)⇒貯蔵　⇒選別　⇒苗床へ




という工程を踏むことで、貯蔵中の発病リスク軽減に繋がります。

1) 参考資料：農研機構「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策（令和4年度版）」
2) 尾部の切除は乾腐病等による貯蔵腐敗の予防のため。
3) 黒斑病対策としてトップジン M 水和剤 200 倍液に 30 分館浸漬（塊根切除後、速やかに実施）し、日陰に並べて表皮が乾いたことを必ず確認してから貯蔵する（ただし、10℃以下の低温にさらさないように注意する。


※　本資料の無断使用・複写・転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援部

## ３ アブラムシ類

・生育初期につるの先端に寄生し、ウイルス病を伝搬します。
・葉に寄生し、吸汁加害するため、生育が抑制されます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○防除薬剤：アドマイヤー顆粒水和剤 | 10000 倍 | 収穫 7 日前まで/2 回以内 |
| トレボン乳剤 | 1000 倍 | 収穫 7 日前まで/3 回以内 |
| コルト顆粒水和剤 | 4000 倍 | 収穫前日まで/3 回以内 |

## ４ ハダニ類

・葉裏に寄生し、葉を吸汁加害して生育が抑制されます。葉表から吸汁箇所がかすり状に透けて見えます。

| | | |
|---|---|---|
| ○防除薬剤：マイトコーネフロアブル | 1000 倍 | 収穫 3 日前まで/1 回 |
| コロマイト乳剤 | 1000 倍 | 収穫前日まで/2 回以内 |
| コテツフロアブル | 2000 倍 | 収穫前日まで/2 回以内 |

## ５ コナジラミ類

・成虫、幼虫が葉の裏面から吸汁して加害します。
・密度が高いと白化現象、退色、萎凋等が起こることがあり、すす病も併発します。

| | | |
|---|---|---|
| ○防除薬剤：サンマイトフロアブル | 1000～1500 倍 | 収穫前日まで/2 回以内 |
| ベストガード水溶剤 | 1000 倍 | 育苗期/3 回以内 |
| コルト顆粒水和剤 | 4000 倍 | 収穫前日まで/3 回以内 |


※ 本資料の無断使用･複写･転載を禁じます JA全農ちば 営農支援部

営 農 情 報

令和５年１２月

# 安全な農作物生産の取り組みについて
# ～農薬・肥料の保管方法～

ＪＡ全農ちば　営農支援部

## 1. 農薬と肥料はきちんと保管しましょう！

農薬には毒物や劇物などの危険物が、肥料には発熱・発火・爆発の恐れがあるものがあり、管理方法を誤ると重大な事故につながる資材であることを改めて認識する必要があります。特に、盗難や紛失は大きなリスクを伴います。また、家族や従業員による農薬の誤飲・誤使用を無くすためにもきちんとした保管・管理を行いましょう。

## 2. 農薬の保管方法

**（1）医薬用外毒物劇物の表示をしましょう！**
**⇒事故の未然防止**
**（2）施錠をしましょう！**
**⇒農薬の盗難・紛失の防止**
**（3）空容器への移し替えは避けましょう！**
**⇒誤飲事故の防止**
**H28～R2 年度の5年間で 26 件の誤飲誤食事故が発生しています（農林水産省調べ）**

## 3. 肥料の保管方法

**（1）野ざらしは避けましょう！**
**⇒肥料の劣化・成分流出の防止**
**雨風や直射日光を避けるために屋根がある場所に保管、ブルーシートなどをかけるのも有効です**
**（2）直置きは避けましょう！**
**⇒肥料の劣化防止**
**湿気による劣化や包装の傷みを防ぐため、肥料は土や床の上に直接置かず、パレットなどの上に置きましょう**

## 4. 在庫管理について

農薬と肥料は購入数・使用数が分かるように在庫管理を行いましょう。栽培記録等で使用量の詳細が把握可能であれば、袋・ボトル数単位の管理から始めましょう。在庫管理をすることで、無用な追加購入を避けることができます。また、盗難・紛失等の事件・事故が発生した場合に、迅速に状況を把握することができ、さらに自身の使用状況を客観的に他者に伝えることができます。

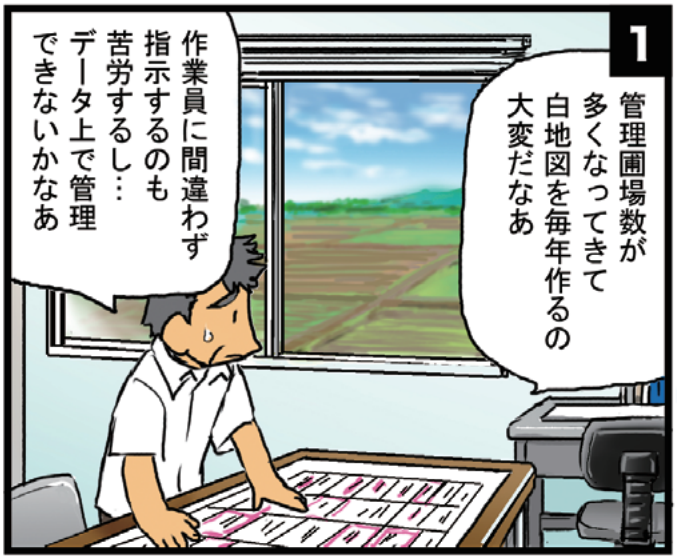
記録例⇒

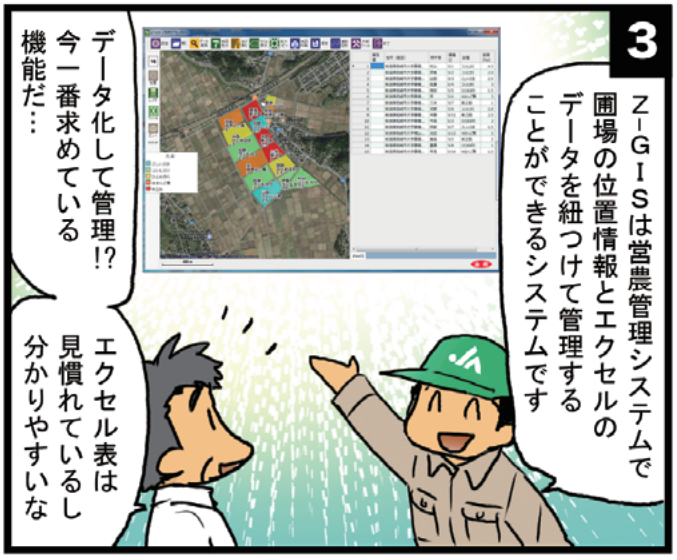
| 資材A | 8月1日 | 8月5日 | 8月27日 | 9月5日 | 9月19日 | 9月25日 | 10月8日 | 10月18日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入庫(kg) | 80 | | | | 90 | | | |
| 出庫(kg) | | 15 | 15 | 15 | | 15 | 15 | 15 |
| 在庫(kg) | 80 | 65 | 50 | 35 | 125 | 110 | 95 | 80 |

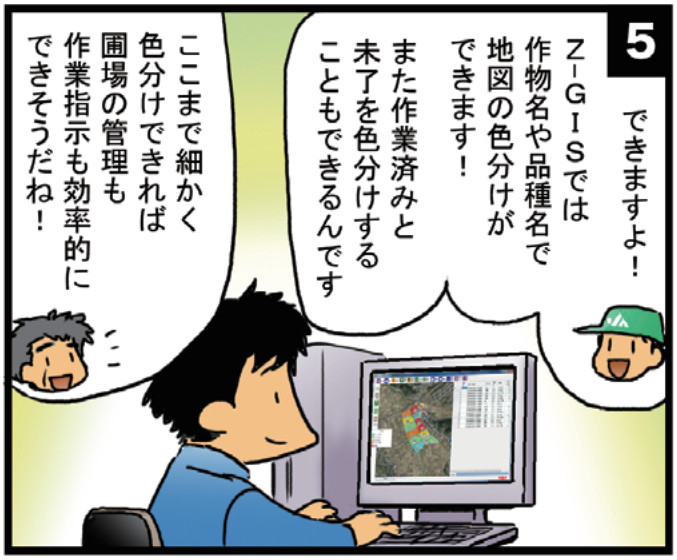
農作業安全 管理機による巻き込まれ事故注意！転回・バック時は慎重に！　　食の安全・安心 農薬散布器具は毎回必ず洗浄！

※　本資料の無断使用・複写・転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援部

# 圃場管理ならお任せあれ！
# スマートフォンに表示可能
# 営農管理の強い味方！Z-GISのご紹介







●営農管理システム「Z-GIS」のお問い合わせは

一般社団法人　農協協会　Z-GIS管理部　TEL.03-3639-1125

JA全農　耕種総合対策部　スマート農業推進課　TEL.03-6271-8274

https://z-gis.net/99/

※Excel®は、Microsoft社の登録商標です。

今ならお得なチャンス！

# はじめようスマート農業キャンペーン

日々の作業を効率化しませんか？

2023年12月1日▶2024年3月31日

営農情報を地図で可視化！

## Z-GIS 全農 営農管理システム

**入会者（新規のみ）**

**利用料 ご加入から4カ月目まで 無料**

例：2月15日申込の場合、5月末までの利用料が無料

申込みは
Z-GISホームページ……▶
または専用申込書から

## Z-GIS 初級者向け WEB講習会開催

12月から毎月開催！メールでご案内

キャンペーン期間中の入会者向けZ-GISの初級WEB講習会を開催
12月19日、1月23日、2月20日、3月19日 ※すべて16:00～ 1時間

## Z-GIS 全農 営農管理システム って…？

**圃場管理ならお任せ！**
管理項目別に色分け・地図表示可！

【お問合せ】JA全農耕種総合対策部スマート農業推進課 TEL03-6271-8274 ✉zz_zk_smart@zennoh.or.jp

JAグループ 全農®